燕市で見つけた新たな一歩

新たに地域おこし協力隊に着任した志村春香さんと大西由佳さん。令和3年に設立された特定非営利活動法人「フードバンクつばめ」の仲町拠点で活動しています。燕市への移住を決めた経緯などをお聞きしました。

志村（しむら） 春香（はるか）さん（栃木県出身）〔写真左〕
●地域おこし協力隊（フードバンク推進員）

大西（おおにし） 由佳（ゆか）さん（千葉県出身）〔写真右〕
●地域おこし協力隊（フードバンク推進員）

自然に囲まれた環境の中で、自分たちが興味のある仕事に携われることが楽しみだという地域おこし協力隊として、フードバンクつばめに着任した志村さんと大西さん。なぜ燕市を選び、協力隊の「フードバンク推進員」に惹かれたのか伺いました。

志村：燕市には旅の途中で訪れたことがありました。再訪した時に「フードバンクつばめ」や「まちトープ」が新設されていて、以前訪れたときよりもまち全体に新しい風が吹き込んでいて、居心地の良さを覚えました。そのまちを見て、燕に移住したい！と思うようになりました。

大西：ゆっくりと時間が流れるところで過ごしたいなと思っていたときに、移住という選択もあると考えました。燕市で協力隊の募集があることを知り、都内で開催された移住相談に参加して話を聞き、その場で移住体験ツアーに申し込みました。

志村：学生のときからフードロスや食糧支援に興味を抱いていました。前職の仕事をしているときに、フードバンクつばめの存在を知り、応募を決意しました。

大西：前職で福祉関係の仕事をしていたため、自分の経験が活かせる仕事ができたらいいなと考えていたときに、この募集を見つけました。

最後に今後の活動をお聞きしました。

志村：自ら足を運んで食糧寄附のお願いに行くことやイベントを企画するなど、地域との協働や対外活動に力を入れていきたいです。

大西：フードバンクつばめの活動を多くの人に知ってもらいたいです。ご家庭に余剰食糧がありましたら、仲町拠点までお持ちいただけると嬉しいです！

◀フードバンクつばめ 仲町拠点の施設内

▲フードバンクつばめ仲町拠点のインスタグラム

▲フードバンクつばめのインスタグラム

紙上ブログ

燕市長　鈴木 力

令和2年から整備を進めてきた燕市・弥彦村統合浄水場が竣工。4月から本格的に稼働しています。

強度や耐食性が高く県内最大規模のセラミック膜による水処理方式を採用した本浄水場は、水質・水量などの環境変化や、地震・風水害などの自然災害にも強く、地域住民の皆さまに安全で安心なおいしい水を安定して提供できる施設です。

実際に飲んでみて変化を感じていただけたでしょうか。今後は一般公開も計画しております。

これまで以上に燕市と弥彦村とで連携しながら、私たちの生活に欠かすことのできない水を未来へ繋（つな）いでまいります。

◀こちらは有料広告です。

※この広報紙は、環境にやさしいベジタブル・オイル・インクを使用しています。

広報つばめ Tsubame 2025 5
発行／燕市
編集・企画／広報秘書課 広報広聴係
〒959-0295 燕市吉田西太田1934
☎0256-92-1111 FAX0256-92-2112
koho@city.tsubame.lg.jp
https://www.city.tsubame.niigata.jp/
「声の広報つばめ」：広報つばめを音声にしたものを、燕市公式ホームページで聞くことができます（ダウンロードも可）。